

基本目標／数値目標	重点施策	主な事業	K P I（案）
働きたい“仕事”をつくる ／ 企業誘導による新規事業所数 5事業所 (2029年度までに) ※	企業誘導による産業の創出	協定企業や地域活性化起業人制度を活用した企業誘導	○ 村内民間企業への就労者数 77人→100人【5年間で】※ ○ 不耕作地活用面積 6,940㎡→10,000㎡【5年間で】※ ○ 企業誘導施策 0施策→1施策【5年間で】★
		村内雇用の創出	
		労働者への経済支援	
	未来ある創業の支援	空き家やサテライトオフィスを活用した起業希望者への支援	○ 空き家等の新たな活用施策 0施策→1施策【5年間で】★ ○ サテライトオフィスの稼働率 80%維持【／年】★
		創業相談の実施	
		誰もが活躍できる就労環境の促進	
	価値ある産業への発展	きれいな水と空気を創造する森林整備と間伐材利用の促進	○ 道の駅「清川」における村内出荷者の売上金額 47,111,000円→55,000,000円【5年間で】※ ○ きよかわブランド認定品目数 13品目→25品目【5年間で】※ ○ 地域おこし協力隊員数 0人→3人【5年間で】★ ○ 森林資源活用施策 0件→1件【5年間で】★
		地域おこし協力隊制度等を活用した地域資源の可能性の探索	
		農業と道の駅「清川」の連動機能の充実	
		特産品きよかわブランド認定制度の運用	
行ってみたい“魅力”をつくる ／ 観光入込客数 2,352,831人→2,500,000人 (／年) ※	観光産業による交流人口の増加	宮ヶ瀬湖畔園地の広域的な取り組みによるブランディングの推進	○ 一人あたり観光消費額 250円以上維持【／年】※ ○ 観光事業の大学連携プロジェクト数 1プロジェクト→2プロジェクト【5年間で】★ ○ 宮ヶ瀬湖畔周辺の新たなブランディング 0件→1件【5年間で】★
		大学連携による魅力開発プロジェクトの実施	
		地域資源のレクリエーション活用方策の検討	
		既存観光施設の機能強化	
	居住環境の整備による移住の促進	住宅取得を奨励する取り組みの実施	○ 住宅取得関連補助金の申請件数 10件→80件【5年間で】※ ○ 移住・定住促進施策による移住者 16人→100人【5年間で】※ ○ 多拠点居住地域の創出 0件→1件【5年間で】★
		空き家・空き地の不動産活用の促進	
		時代の変化に合わせた居住スタイルの創出	
		企業と連携した村に求められる居住地の研究	
	情報発信と産官学との連携の強化	時代に即した行政情報発信の手法検討	○ ふるさと応援寄附金額 37,400,000円→50,000,000円【5年間で】※ ○ 産官学連携による情報発信件数 25件以上【／年】★ ○ 企業版ふるさと納税額 0円→20,000,000円【5年間で】※
		ふるさと応援寄附金制度の新たな返礼品の発掘	
		官民連携によるイベント参加型の各種ツーリズムの推進	
		企業版ふるさと納税制度を活用した地域活性化の推進	
叶えたい“未来”をつくる ／ 合計特殊出生率 1.21→1.42 (2029年度までに) ※	未来につながる出会いの場の創出	参加しやすい出会いの場の創出	○ 村内での婚活イベント数 1回以上【／年】★ ○ DV等の防止に関する啓発記事の掲載 1件→2件【／年】★ ○ 結婚新生活支援事業申請件数 0件→1件【5年間で】★
		パートナーに関する相談やサポート体制の充実	
		結婚後の新生活への経済的支援の充実	
	子育てしやすい環境の整備	妊娠、出産、育児にわたる継続的な支援体制の強化	○ 保育所等待機児童数 0人維持【／年】※ ○ こども誰でも通園制度導入施設 0施設→1施設【5年間で】★ ○ 放課後児童クラブ待機児童数 0人維持【／年】★ ○ 親子開放デイ参加者数 146人→700人【5年間で】★
		保育・預かり事業の充実と利用条件緩和の調整	
		孤立しない子育て環境の構築	
	安心して心豊かに学べる教育環境の充実	幼小中一貫校を中心とした世代間交流・地域交流の促進	○ 放課後子ども教室の参加人数 783人→800人【／年】★ ○ 幼稚園・小・中学校の連携事業数 39事業→39事業【5年間で】※ ○ 幼・小・中一貫校の整備進捗 ー→100%【5年間で】※
		I C Tを活用した先進的な教育環境の提供	
		教育に係る経済的負担の軽減	
住み続けたい“地域”をつくる ／ 総人口 2,868人→2,900人 (2029年度までに) ★	活力ある地域の創出	健康づくり、生きがいづくり活動への支援	○ 自治会加入率 66.4%→70.0%【5年間で】※ ○ コミュニティ活動促進事業補助金利用団体数 2団体→4団体【5年間で】※ ○ サロン活動の地域カバー率 81.4%→100%【5年間で】※ ○ 青龍祭の準備・運営従事者数 450人以上【／年】※
		村民相互のつながりの維持とコミュニティの醸成	
		イベントや文化・伝統行事を通じた交流機会の創出	
		世代に応じた食育の推進	
	安全・安心な地域の実現	災害に対応する自助・共助・公助の防災・減災力の強化	○ 防災訓練参加率 16%→25%【5年間で】※ ○ 刑法犯認知件数 5件→0件【5年間で】※
		きよかわくらし応援館や公共交通、公園などの維持	
		村域全体における見守り体制の構築	
	持続可能な行政運営の推進	デジタル技術を活用した課題解決とDXの推進	○ 手続きの電子化・オンライン化対応項目数 27項目→130項目【5年間で】※ ○ みちづくり計画に基づく村道整備率 18.3%→43%【5年間で】※ ○ 下水道施設設備の長寿命化達成率 6.0%→18%【5年間で】※
		ごみ・鳥獣・樹木などの適正管理による良好な住環境と公共インフラの維持	
		持続可能な財政基盤の確立に向けた行政改革と健全財政の推進	